

# ファッションビジネス・流通イノベーションコース

## 1. 課程修了時の能力水準

ディプロマポリシーで定められているコースの専門職業人の人材育成を目標としている。

コースの課程修了時に達成されることが期待される能力の水準は「学生の学習成果の評価の方針（アセスメントポリシー）」の表に定められている水準である。

現代のインターネット社会におけるファッションビジネス流通の変革を推進する CMO（チーフマーケティングオフィサー）となるために必要なデジタルマーケティング知識、グローバルな思考力、ファッション感性、課題解決力、PC スキル、社会人基礎力の育成をすること。

デジタルマーケティングを学び、現代の消費者の購買行動を理解する。その上で、イノベティブでグローバルなファッションビジネスを構築する力を養っていく。スマートフォンのファッションアプリや EC ビジネス担当者、メディア発信ができる PR 広報担当者、オンライン（EC）とオフライン（実店舗）を融合できる店舗販売員、オムニチャネルの要である物流担当者、デジタル技術による VR や AI を活用した販売促進担当者など。このような職種に対応できる技術・能力育成を目指す。

## 2. 各年次の能力水準

多くの卒業生に関わっている企業や卒業生の意見を基に各学年における到達目標を定めている。

GPA 制度の評価方法は、科目の成績を 5 段階で評価したものに、S=4、A=3、B=2、C=1、D=0、のグレードポイント（GP）を付与し、奨学金の選抜や卒業時の代表の選考等に活用している。

### 2 年次：専門コースの基礎知識における学力到達目標

- ・ 基本的マーケティングの概念とアパレルマーチャンダイジングを理解
- ・ 基礎的なアパレル業界の構造と仕組み、アパレルの職種を把握
- ・ 市場リサーチの分析の手法と技術を習得
- ・ マーケティングを学んだ上で、消費者の消費行動の基礎的知識を習得
- ・ PC（フォトショップとイラストレーター）でファッション関連の課題を制作し、プレゼン発表できる能力を養う
- ・ 財務分析の基本的手法を体系的にとらえ、企業実態を読み取る力を習得

#### <プレゼミ・イノベーション>

- ・ アパレル現場の担当者の講義や訪問などから、ファッションビジネスの現状を理解し、今後さらに拡大するファッションビジネスにおける、オンライン（EC）とオフライン（実店舗）の融合というニューリテールの基礎的理解

：ファッション関連企業での体験をすることにより、実務認識を持つ

プレゼミで企業訪問、企業の担当者による講演を聞くことにより、企業での業務を理解する。

：産学連携 Pshichic VR Lab とのコラボ

ファッション VR のソフトを使って制作する。

：学部評価としての検定

ファッション販売能力検定 3 級（全員）

：評価基準（プレゼミ・イノベーション）

準備学習等の意欲や学習態度・姿勢…30%

課題提出 …40%

レポート発表 …30%

：評価者

(学内) コース2年担当者

(学外) 協力企業

3年次：専門コースの応用知識における学力到達目標

- ・デジタルマーケティングの実践的知識や技術の習得
- ・ECやオムニチャネル、ファッションアプリなど新しいファッションビジネスへのニューリテールとしての応用と提案
- ・以上をゲスト講師によるオムニバス形式のゼミから学び、現在のファッションビジネスの新しい方向性を習得する。
- ・写真撮影とPC編集（インデザインのソフト）して表現できる能力（エディトリアル）
- ・2年で得た消費者行動論の知識からファッションビジネス現場へのプレゼンテーション能力
- ・ファッション市場（マーケット）をリサーチして分析した課題を制作する
- ・日本のファッション製品をEC、実店舗ともに海外展開するグローバルな発想と提案
- ・プロのスタイリストによるECでも販売でも活用できるスタイリング講座を開設する

：学部評価としての検定

- ・ファッション販売能力検定2級（全員）
- ・ネットショップ認定機構 レベル1（希望者）

：評価基準（流通イノベーションゼミⅠ・Ⅱ）

準備学習等の意欲や学習態度・姿勢	…	30%
課題提出	…	40%
論述発表	…	30%

：評価者

(学内) コース3年担当者が評価

(学外) 協力企業

4年次：専門コースの卒業年次における学力到達目標

- ・オウンドメディアによる企業のメディア発信の方法を習得する
- ・Amazonなどネットショップ等で売上向上ができる写真技術や文章を制作する
- ・「顧客満足」より進んだ「顧客とのエンゲージメント」の指標作りを習得する
- ・イノベティブでグローバル展開を想定するファッションビジネスを提案できる企業への

プレゼンテーション

及び卒業論文の執筆をする

：学部評価としての検定

- ・ITパスポート（国家資格）（希望者）

：評価基準（卒業論文Ⅰ・Ⅱ イノベーション）

準備学習等の意欲や学習態度・姿勢	…	30%
イノベティブな発想力・企画力	…	20%
論文の完成度	…	40%
論文のプレゼンテーション	…	10%

：評価者

(学内) コース4年担当者が評価

(学外) 協力企業・他大学教員